

## 平成21年度「富県宮城グランプリ」表彰について

### 1 趣旨

昨年度に引き続き、本県産業の発展と地域経済の活性化への貢献が顕著な企業・団体等を表彰し、「富県宮城の実現」に向けた機運醸成を図るとともに、「富県共創」の理念に沿って、企業及び県民各層の主体的な取組を促進する。

### 2 表彰の区分と対象

(1) 表彰区分：「企業」「個人」「団体」の3部門とする。

(2) 表彰対象

- ① 県内に事業所等の活動拠点を有し3年以上の活動実績がある企業、個人及び団体
- ② 本県産業の発展と地域経済の活性化に対する貢献が顕著
- ③ その貢献が県民に相当程度認知

### 3 スケジュール

- |       |     |                             |
|-------|-----|-----------------------------|
| 平成21年 | 9月  | ・富県宮城推進会議構成団体に対して、県から依頼文書発送 |
|       | 10月 | ・募集開始（応募は、団体、市町村の推薦を要する）    |
|       | 12月 | ・募集締切                       |
| 平成22年 | 2月  | ・第3回富県宮城推進会議幹事会で意見交換        |
|       | 3月  | ・最終選考（知事）を経て表彰              |

### 4 富県宮城推進会議構成団体への協力依頼

- ・募集の構成会員等への周知
- ・表彰候補者の推薦

## 平成20年度(第1回)富県宮城グランプリ受賞者名簿

部門	受賞者名	受賞理由	推薦団体名
<b>富県宮城グランプリ</b>			
企業部門	かみでんしこうぎょう 加美電子工業株式会社	昭和45年に設立以来、着実な成長を遂げてきた企業であり、精力的な産学官連携により、革新的な塗装システムを開発、この技術はスプレー塗装業界における基盤技術として高く評価されている。	加美商工会
	ひきちせいこう 引地精工株式会社	優れた技術力・発想力により、製品の自社開発率が非常に高く、設計から製作までの一貫体制の中で、高い競争力を発揮している。さらに多様な分野への製品提供を通じたリスク分散型の経営で、顕著な業績を挙げている。	岩沼市
個人部門	はねたゆういち 羽田祐一	みやぎ工業会の前会長として、本県産業経済の課題である製造業の振興に大きく貢献した。さらに富県宮城の実現にあたっては、建設的な施策提言のほか、関係団体への指導など、富県戦略全体の推進に大きく貢献した。	社団法人みやぎ工業会
団体部門	気仙沼漁業協同組合	水産資源の減少や燃油高騰等、水産業を取り巻く厳しい状況の中で、地域経済の中核をなす魚市場の活性化に向け、水揚作業の効率化など漁船誘致のための取組を積極的に展開し、近年、水揚金額が大幅に増加するなど顕著な実績を残している。	気仙沼市水産加工業振興協議会
<b>富県宮城グランプリ特別賞</b>			
企業部門	株式会社木の屋石巻水産	鯨食文化の伝承・普及や、金華さばの地域ブランド化など、鮮度と品質にこだわり、地域資源を活かした付加価値の高い商品づくりへの貢献が顕著である。	石巻市水産加工業協同組合
個人部門	ごとうはるお 後藤春雄	溶接技能の第1人者として県下に指導的役割を發揮し、本県ものづくりのレベルアップに長年貢献した。また、県内工業高校、高技専などの講師や、長期のインターンシップの受入など、ものづくりの人材育成に積極的に努めている。	宮城県高等学校工業教育研究会
団体部門	一迫商業高校地域活性化プロジェクトチーム [一迫商業高等学校・(有)もちっ小屋でん・丸勝食堂]	地元企業とのコラボレーションにより、地元産ひとめぼれを使った「米ていら」や「栗原ふれあい弁当」の商品開発・販売をするなど、地域資源を活かした取り組みを展開している。また、先の震災の復興に向けて、地域の観光DVDやガイドブックの作成・配布をとおして、地域の魅力発信に努めている。	栗原市
	宮城県大河原商業高等学校商業研究グループ	町木である「梅」に着目し、地元企業と一体となって、地元産の梅を材料とする「梅あめ(うめ輝らり)」の商品開発に取り組んだ。さらに、平成20年12月からは、東北6県で販売されるようになり、生徒自らも販売活動を実践している。	大河原町